

## 12月議会 一般質問(加藤鉦一議員)

# 雪捨て場確保と高齢者の宅地内除雪を 市は難病対策をどう把握

鶴岡市議会12月定例会一般質問で5日、加藤鉦一議員は、①雪捨て場確保と高齢者に思いやりのある雪対策、②難病対策について質問をおこないました。

### 緑地や公園の雪寄せ場利用を試行



では日吉町公園の雪寄せ場利用を試行していきたい。

将来は民有地の活用を視野に入れて検討していきたい」と答えました。

### 除雪ボランティア

加藤鉦一議員は、高齢者の出入り口除雪について、「高齢者の屋根の雪下ろしには支援があるが、玄関先に置かれた雪の処理や宅地内の除雪には支援がない。旧藤島町では除雪ボランティア施策があった。

老人世帯の出入口除雪を地域住民の協力で解決していくよう、町内会を通じてボランティア団体に除雪1回500円・1日千円の補助を実施してきた。

さらに、「今年度、市有地において市が管理している開発緑地の利用を、第4学区で『市民雪寄せ場モデル事業』を立ち上げ、第3学区

### 課題が残った

今野和恵健康福祉部長は、「地域住民による助け合い、支え合いによる取り組みをお願いし、その支援をおこなっている。

現在その体制づくりの一つとして、地域除雪パートナーズ支援事業による小型除雪機の設置、除雪機オペレーター養成、担い手体制づくりへの支援を実施している。

社会福祉協議会と連携し各地域でおこなわれている除雪ボランティアの紹介、作業可能な事業所の紹介など情報提供をおこなっている」と答えました。

旧藤島町の除雪ボランティア事業については、「平成14年度から5年間実施され、除雪支援体制の形成など一定の効果があったが、一方で、除雪者個人に助成金を支給したところが多く、高齢者と支援者で『除雪が不十分』『除雪作業労賃としては不足』などの不満の声もあり、ボランティア活動への支援として課題

が浮き彫りになってい」と答えました。

### 中町町内会の事例

さらに、藤島地域の中町町内会の事例を紹介し、「町内会が1世帯に1世帯という支援関係をコーデイネートし、過度な負担とならないよう、除雪範囲を道路から玄関まで人が歩ける程度に限定し、自宅の除雪に合わせて朝1

回実施するとしている。支援が必要な世帯からは、支援者が過度な義務感を抱かない程度として1シーズン3千円の負担をお願いしている。

今シーズンもすでに実施に向けた会議を終え、13世帯に支援をおこなう予定としている。こうした地域にあった体制づくりに努めていきたい」と述べました。

### 難病対策は県の事業だが市はどう把握

難病対策について、「70歳代の男性が6月に突然、筋肉が動かなくなる難病の筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断され症状が悪化病院に入院後、7月には家業を閉じて自宅で療養生活をしている。

看護する妻も24時間気の休まるいとまがない生活を強いられ、経済的、精神的負担に悩んでいる。

難病対策は県の事業だが、市内の患者の実態をどう把握しているか」と質問しました。

### 743人に助成

健康福祉部長は、「第一義的には効果的な治療方法の開発と医療の質の向上、安定的な医療費助成の仕組みの構築がある。

さらに患者を支援していくための市民の理解促進と社会参加のための施策が必要だ。

しかし、治療研究のための医療が中心であり、県では特定疾患治療研究事業としての医

療費助成制度に基づく患者数は把握しているものの、全体的な難病対策については国レベルになつてい」と答えました。

本市の患者数については、「県によると、本市で医療費助成の対象となつている患者数は743人で、56の特定疾患のうち患者数の多いのはパーキンソン病、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデスとなつている。

本市では難病という括りで統計的な全体像をとらえていないのが現状だ。

しかし難病に伴う状態に従って介護保険や障害福祉サービスなどによる支援、医療費についても特別障害者医療の適用により負担の軽減が図られている」と答えました。

加藤議員が厚労省による難病の医療費助成制度見直し案で患者負担が増える問題を取り上げたのに対し、「見直しが市民に与える影響については注視していく」と答えました。



# 庄内交通が補助金を過大受給 県と市町で一部穴埋め 議会総務常任委

鶴岡市議会12月定例会の総務常任委員会が10日開かれ、加藤鉦一委員は「庄内交通の補助金の過大受給」について質問しました。

市の補正予算では、交通輸送対策事業として「生活交通バス路線の維持確保に対する助成」986万8千円が追加されています。

## 事務処理ミス

この発端は、昨年の会計検査院の調査で、宮崎県や島根県のバス会社が国・県のバス対策補助金を過大に受給していたことが発覚。庄内交通が独自に確認した結果、事務処理ミスにより過大交付が判明し、昨年12月に国（東北運輸局）へ自主申告したことです。

事務処理ミスは、平成19年から23年の5年間、補助対象外の鶴岡市スクールバス事業の収益を誤って加算していたとのこと、この間、8路線で生徒の通学パスによる路線バス利用が順次スクールバスへ移行し、路線バスから外れていました。国の生活交通路線維持費補助金（2001（平成13）年）は、市町村をまたがる広域的・基幹的路線バスの赤字を国と県が半額ずつ補助する制度で、路線ごとの補助です。補助要件は、①1日

あたりの輸送量が1500人であること、  
②経常収益／経常費用（収支比率）が11/20以上の路線であること。  
過大受給となった対象路線は、5年間の累計で述べ39路線4億4800万円（国・県2分の1づつ）。

そのうち補助要件①を満たさない路線は28路線で2億9200万円、同②を満たさない路線は11路線で1億5600万円です。

## 県と市町で差額補助

経過説明で、補助要件①のミスは救済できる制度はなく、2億9200万円は会社が国・県に返還する。

②は県・市町村が差額補助することで収支比率11/20に達する場合合は補助要件を満たすとのこと、1億5600万円は返還不要となるとのこと。

県と関係4市町が協議をおこない、②については差額補助をすること、②について合意したとのこと。

## 「まるごと」日本共産党 中国に率直に問題提起 ② 「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

前記の分析をもとに、これまで「内政不干渉」の原則を守りながら、中国政治体制の将来の問題、「反日デモ問題」や「チベット問題」、尖閣諸島問題などを中国共産党指導部



とです。

差額補助の総額は3419万9千円で、うち県が1100万円、市町が2319万9千円（鶴岡市1183万9千円、酒田市798万7千円、庄内町2千円、三川町337万1千円）。

## 8年前に県議会でも

加藤鉦一委員は、「県議会の平成17年6月議会で、笹山一夫県議が、国の補助制度が変わった平成13年分のバス会社の補助金返還の問題を取り上げ、県の土木部長は、14年度以降はバス事業者に補助要綱を説明し運用していると答えている。その後、補助申請に誤りがあったとはならないはず」と質しました。

答弁では、市として会社の国補助申請書類を確認する手段を持たないこと、市内の地方路線バスの多くは赤字で、県と関係市町で地域交通の維持確保を図るため協議を重ねたこと、今後人口減少のもとで国の補助要件の緩和を求めていくことなどが述べられました。

に節々で直接かつ率直に伝えてきた。

1998年訪中した不破委員長(当時)は、胡锦涛政治局常務委員(当時、後国家主席)との会談で、「言論による体制批判は禁止することなく、言論で対応するという政治制度への発展を展望することが重要」と提起。

また昨年9月志位委員長は、程中日大使と会談、尖閣諸島の日本領有権の正当性を主張、冷静で理性的な外交交渉による問題解決を強く



## 秘密保護法を強行

法律を創り上げる段階で国民の意見を聞く。民主的手続だ。しかし、衆議院が福島で開いたそれでは7人が意見を述べたが、賛成と言った人は1人もいなかった。でも強行採決でこれを通した。

▼参院に至っては公聴会の前日に場所と時間を決めて開いた。いつでもどこで開くかを事前に国民に明らかにしなければならぬ手続きがこれだ。これが自由民主党のいう民主的やり方だ。

▼国民の大部分が疑問を持つたり反対しているから時間をかけるべきだというのを、参院でも強行採決した。

▼数では絶対の与党。強行採決の必要は全くないのだが、国民には知られてはならない本当のモノが露呈しない

調し、さらに「物理的な対応の強化、軍事的対応論は、日中緊張の激化を起し、冷静な外交的解決に逆行する」と自制を求めた。

まだ良い結果は出ていないが、1966年中国文化革命以後、永遠の断絶かといわれた日中関係が1998年32年ぶりに回復し、このような会談が行えるようになった関係を踏まえ中国共産党の良識に期待したいものである。

うちに幕にしたいのだ。  
▼デモをテロと呼んで削除した石破のブログにこういう一節があった。曰く、主義主張を表現したければ、民主主義に従って理解者を1人でも増やし支持を広げるべき、という。

▼しかし彼に民主主義を語る資格があるのかといたい。1人でも多くと支持を広げて当選してきた国会議員をオドシて公約を破らせたのが自民党幹事長の彼なのだからだ。

▼ここにどんな民主主義があるっていつの？。権力とオドシで自分の思うようにすることに自由と民主があるのか。あるのは自分だけが良いという民主主義とやらではないのか。加えて言えば、今国会でやっていることは断じて民主主義ではない。

▼ワーバリーナハ民主主義ではネーゼ。自由でも民主でも使ってワリー。(石川)